

- 斐さんが可能性を調べ、もし駄目なら、受入れの再来年以降への延期を願い出ることとした。
- (2)第5地区のインターネットホームページ開設：  
 ◆中和田教会の委員は、小野さん。
- (3)梅村新司教叙階式（着坐式）：  
 ◆5月15日12:00pmより、雙葉学園講堂にて執り行なわれる（阿部さんが参列）。  
 ◆教会より、御祝金¥30,000を出す。
- (4)森脇先生の理科教室：5月22日に開催される。
- (5)一粒会（第5地区）：  
 ◆5月23日9:00am-15:00に藤沢教会にて開催される。テーマは「司祭職を助けるには……」。  
 (背景) 司祭の高齢化により、将来は第5地区全体で司祭が一人になることも覚悟必要。(女性を含む) 侍者を育成していくこと、一般信徒がごミサで聖体を授けるなどの介助奉仕をしていく、……などの手立てが必要になっていく。
- (6)司教区典礼部研修会：  
 ◆5月30日に11:00am-12:30にて開催される。テーマは「感謝の祭儀への奉仕」。申込みは5/16迄に。
- (7)山崎神父様出張(5/28～5/31)：留守当番のお願い。  
 ◆いつもの様に、当番表を張出しますので、ご協力をお願いします。
- (8)バザー委員会：  
 第1回目の委員会を6月19日(土)10:00amより開催する(福島さん)。
- (9)「愛の文明に生きるつどい」の話題から(阿部さん)：4月16日に横浜カトリックセンターで開催され、中和田教会から16名が参加、これほどの人数が参加した教会は中和田だけだった。  
 池長潤大司教様(大阪大司教区)の「福音と世界」と題するお話は、実に素晴らしかった由。ポイントは「我々は外に向かって行動しなければならない」こと。

### 壮年会だより

<5月16日(日) 11名出席>

- 5月壮年会例会で、小谷さんが壮年会会員として提案したいと、次のようなご提案をいただいたので、壮年会として、教会委員会に図ることにしました。
- 教会前庭にある聖母マリア像修復のための募金活動について  
 皆様ご存知のように、1985年(昭和60年)に一信徒からの寄付によって建立されたもので、昨年お化粧直しをしたとはいえ、永年の風雪に傷みが激しく抜本的な修復が必要ではないのでしょうか。具体的な方法等委員会で検討いただくよう、お願いしたい。
  - 現在泣き部屋と称している部屋を小聖堂としての体裁を整え、活用できないだろうか。  
 わたしたちは永年にわたり中和田教会に貢献して下さっている小谷さんが常に前向きに教会のことを考えつづけてこられることに頭が下がります。問題意識を持ち続けることが、若さを保つ秘訣であることを痛感いたしました。

### 婦人会だより

<5月16日(日) 38名出席>

- 委員会報告
- 遠足について

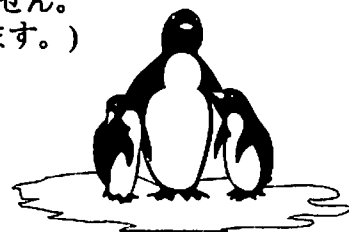
五月晴れのうちに神様のお恵みと皆様のお折りに支えられて楽しく無事に遠足が出来ました。水族館ではお母さんに寄り添って元気に泳ぐイルカの赤ちゃんを観ることが出来ましたし、聖体訪問に訪れた大森教会では神父様にお話を伺い教会の方々が用意して下さいましたお茶を頂きながら交流できたことは幸いです。予定どおりの帰着も適い感謝、感謝の日でした。

◆会計報告 (単位: 円)

収入	婦人会会計より	20,000
	参加費 (4,500×28)	126,000
	当日キャンセル (2,600×2)	5,200
	収入 合計	151,200
支出	バス代	84,000
	有料道路	2,100
	保険代	5,600
	昼食代	29,400
	水族館入場料	20,160
	大森教会への献金	5,000
	水族館駐車場代	2,300
	運転手さんへのお礼(食事代含む)	4,000
神父様へのお土産	550	
下見 (3人)	3,360	
	支出 合計	156,470
	収入 - 支出	▲5,270

- 不足分5,270円は一般会計の予備費より補填させていただきますことが承認されました。
- ◆バザーについて  
 ◆制作数の多い方はバザーの予算より支出されますので申し出てください。但し2点以内は個人負担となります。  
 ◆毛糸及びエプロンやピロケースを制作するための布地をご寄付下さい。  
 ◆バザーのための作品作りを行っています。一緒に作品作りをしたい方はご参加ください。  
 毎週木曜日 午後1時より  
 (注：奉仕日ではありません。個人での参加となります。)

次回例会は6月20日(日)、  
 次回当番はB地区です。



### 今月の予定

- 委員会 6月 7日
- 山崎神父様出張 6月 7～10日
- 聖ペトロ聖座献金 6月 27日
- 山崎神父霊名祝日 6月 29日
- サロン 6月 13, 27日
- レジオ 6月 11, 18, 25日



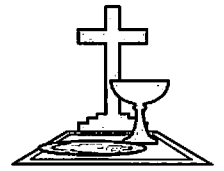
第248回

中和田カトリック教会  
 広報委員会発行  
 泉区中田北1丁目9-1  
 Tel. (045) 803-6141  
 1999年6月6日



### 遠い道

山崎 正俊



はじめに好きになれるはずの人とは、素直にはできず、いろんなことがあるのは当然だろうが、嫌なことがありすぎ、どうしてもしたしめない何か、たちはだかっている。あのおばあちゃんのやさしさは、暖かく包んでくださるのに、心の傷は消してくれない。

私が冷たいからなのか。ないものねだりのせいなのだろうか。おばあちゃんを苦しめるためなのか。どうして、そのようにするのだろう。——とりかえしがつかないことになって、やっと気がつく。——あの人がいて、それほど尽してくださるのが、気にいらないので、いじわるをするように見える。

「あの人は母でもないのに、この人は母でありながら、母になりきれない」

(マリア様は雲のかなたのおかた。その雲はあまりにも厚くて、あまりにも強く拒まれるので近寄りたがたい。どうしてなのだろう。さっぱりわからない)

そのわからなさが、たぶん、この私を押しつける。そうなのだろうか。

母はあのとき、病気だったのだと、今では思うしかない。——あのおばあちゃんがあそこにおいて、わたしの心をはなさなかったのだから、母をあれだけ狂わせたのだろう。

私が横を向いていたので、母には慰めがなくなり、ひとりぼっち。おばあちゃん母娘の喜びは、私を幸福感でいっぱいにするはずなのに、それをそれほど意識してはいないのだが、母には、自分の受ける喜びをとりあげられていると感じられた。

そうか。そうだったのか。私の生きる道はそのようにして、意味のあるものとなる形をととのえはじめたのか。——

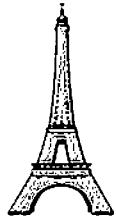
母の不満は、留守がちの夫を離れ、幼い手頃な子に破裂させ、おとなの家のシガラミのなかで、あのおばあちゃんたちの心の「生きる希望」に仕立てられたものを、見失わせてしまう。なんということか。

神様のこのようなおはからは、いつくしみ深いお恵みとなったのだろう。私の無知、その考えの狭さと足らなさに、決定的なゆがみとなり、誰からも教えられないままに、くやしくも、時は、過ぎ去ってゆく。

だが、これまでが、どのようであったかを考えるまえに、同じ過ちを犯さないという反省を繰り返さねばならない。暗い過去から脱け出すためには、いまなすべきことに「償いの意志」を加えるのは、忘れてはならない、当然のこと。このように方向を改めることに気付かせていただく。——いまこそ、父や母の沈黙の闇を受け入れ、いうならば、時代の移り変わりの有難さを見よう。

ほんとに有難とさん。——この頃、テレビでヒントを与えられたことによると、この地上での日々が、何故このようなのか、これは人知の域をこえたものらしい。だから、いまは「だまされたこと」であったとしても、イエズス様の「思いやりの心」をたいせつにしよう。

(1999. 5. 14)



# ルルド・ハビエル巡礼 七日間 (2)

花坂 昌子

パリ空港には二十一時に着き、手続き等を済ませ、バスでパリ市内に向かった。外は夕暮れ時、空もまだ明るい。翌朝六時半でも市内はまだ暗く、少しづつ明けていく風景はセヌ川が流れてどこを眺めても絵になりそう。枯れ木に草木が根付いたやどり木が目につく。

広々とした農村の中をバスはヌベールへと走る。ベルナデッタは病弱で、三十五歳で亡くなる迄、サンジルトール修道院で十三年間過ごした。聖堂でのミサが始まる。小祭壇には聖女の御姿がガラス張りの柩の中に眠っておられる。百二十年も過ぎていのに美しく威厳すら感じる。以前から待ち望んでいた御姿を目前にして熱いものがこみ上げて来たが、ゆっくりお祈りする間もなく、慌ただしく修道院を後にした。日曜日の高速道路は行楽帰りの車で渋滞するため、パリ迄バスの中ではフランス語の勉強で賑やか。

夜はパリのイルミネーション観光で、バスの中から見物。エッフェル塔では降りたが、シャンゼリゼー通りは通り過ぎ、歩きたかった。

翌朝はゆっくりできて、近くのスーパーでの買い物を楽しむ。

昼近くにホテルを出発し、明るいパリ市内を観光。ノートルダム寺院の中は薄暗く、急ぎ足で美しいステンドグラスのバラ窓を見る。

次に不思議のメダイ教会へと行きミサに授かる。中央には無原罪の MARIA 様がメダイの姿で立ち、両手から恵みの光線を放ち地球の蛇(悪)を踏む。左側の小祭壇には聖ルイズの遺骸、右側には聖ヴィンセンシオアパウロの御像と聖カタリナラブレの遺骸がガラスの柩に納められている。聖カタリナに1830年に19回聖母の御出現があり、メダイを作ることを指示、信頼を持って身につける人には、回心の恵み、守護と病気の治癒が得られた。「原罪なくして宿りし聖マリア、御身により頼み奉る我らの為に祈り給え」と表に書かれている。

シャルルドゴール空港から夜十一時にパリを飛び立ち、一路日本へと向かう。窓の外は段々と明るくなり、雪のシベリア山脈が眼下にあった。十四時間かけて十九時に着く。

ルルドと駆け足観光だったパリにまた行ける機会があったら良いと願っている。



ヌベールの聖ベルナデッタ



## ミサ当番表 (99年6、7月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
6/6	キリストの聖体	壮年会	森田	7/4	年間第十四主日	壮年会	森田
6/13	年間第十一主日	青年会	大宮	7/11	年間第十五主日	青年会	大宮
6/20	年間第十二主日	婦人会B地区	岩淵	7/18	年間第十六主日	婦人会C地区	岩淵
6/27	年間第十三主日	壮年会	美底	7/25	年間第十七主日	壮年会	美底

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原:TEL 802-6258)

## 円海山周辺ハイキング



花坂 昌子

壮年会主催のハイキングに老若男女十五名、リーダーの山田さんを先頭に張り切って出発しました。あいにくの小雨模様のなか、JR洋光台駅から閑静な住宅街を通り道は上り坂となり、しばらく行くと「いっしんどう広場」に出る。その辺りから円海山周辺の尾根道となり、皆元気にウグイスの鳴き声に励まされて、歌声高らかに歩く。

緑の日にふさわしく山は緑に包まれ、時々パラパラッと降る雨も少しも気にならない。尾根道は「金沢市民の森」の側を通り、大丸山周辺となり、出発の八時から二時間ぐらいで見晴台に登って休憩となる。

“緑のそよ風いい日だね♪”。自然に歌が出るほど気持ちよい。「横浜自然観察の森」に入ったところで、湿地帯を通りかかり、ホテルの住処と知る。梅雨期には、元気に飛び回るゲンジとヘイケボタルを見られることでしょう。夏にはセミの大合唱、アゲハチョウやオニヤンマも飛び回り虫達のワンダーランドとか。秋にはコオロギが鳴き、湿地には赤とんぼが群れ飛び、渡り鳥が羽を休めに立ち寄るとか――。

終戦時、父母の故郷に疎開した頃を懐かしく想う。自然観察センターでは人間の影響を受けずに自然を育てる場所があり、そこへは立ち入ることができない。また自然が主役で静かに楽しもうと書いてある――。

休憩場で早めの昼食をとる。冷たい風が吹き抜け寒かったが、楽しく美味しかった――。

森を通り天園ハイキングコースに向かう。少し上り坂の尾根道を歩くと頂上に至る。そこからは太平洋と大島が見渡せる。ひろびろと百八十度に展開する風景は、パノラマ映画を見るようですばらしい。以前来たときは、と皆なつかしむ。――。

ここから急な下り坂となり雨にぬれて滑りそうで怖く、足が固まった。途中新しくできた建長寺の見晴台で休憩、今泉台住宅街へと下山した。

四時間ぐらい歩き、万歩計表示は二万歩と聞く。少しづつ足が痛み出した。日ごろの訓練不足と急に二日続けて歩いたためと思われる。明月院から北鎌倉へ向かう途中、お汁粉屋さんに寄る。今回は山坂四時間よく歩いたと思う。山の緑とウグイスの鳴き声もよかった。壮年会と婦人会との合流の集いもそれぞれのお人柄が判るようで楽しかった。これからも参加したい。リーダーの山田さんよろしくお祈りします。



## 「環境コーナー」について

七浦 鑑吉

今回から環境を考える会より広報なかわだ便りに「環境コーナー」を設けていきたいと思ひます。環境問題はすでにあらゆる分野でほつてはおけないところまできていることは皆様も周知のとおりです。

カトリック教会でも1990年1月に教皇ヨハネパウロ2世の環境メッセージが発表され、地球環境問題と私たちの信仰の中で、“地球は神からの賜物である”と呼びかけ、「隣人を愛することは人々のまわりの環境をも含むすべてを受け入れ、愛し、大切にすることだ」と述べられております。

私達中和田教会でもこの環境問題に対し自分たちでできることから手を出し、このコーナーで色々な呼びかけを行い、環境問題の意識をみんなが高めていくことが出来ればと願っております。よろしくご協力お願い致します。

## 委員会だより

<5月9日(日) 13名出席>

### 【1】財務報告：99年4月度決算報告 (甲斐さん) (単位: 円、括弧内数字は99年度年間予算)

	当月収入	当月支出	99°収入累計	99°支出累計
一般会計	409,688	380,551	3,302,826 (6,367,268)	2,174,572 (6,267,268)
建設会計	175,000	0	3,191,811 (3,245,476)	0 (2,873,000)
愛の献金	34,400	0	606,891 (861,749)	41,100 (520,000)
信徒預金	0	0	191,673 (841,673)	9,702 (680,000)

特記事項：◆一般会計：4月単月収支はプラス(¥29,137)。ご復活パーティ精算戻入等による。  
◆建設会計：神父様より¥60,000頂く。6月に借入金年利の1/2支払予定(¥136,500)。  
◆愛の献金：信徒会承認事項に基き、6月に一般会計に¥200,000振替予定。

### 【2】議題：

(1) 第8回湘南短期キリスト教セミナー：来年度の開催教会としての受入れ可否に関する議論  
開催場所/スペースが最大の問題で、少なくとも200人以上の収容能力が必要。中和田教会の建物施設では実施不可能で、1)泉区公会堂を借りる、2)立場地区センターを借りる、3)原宿教会を借りる、等いくつかの候補につき議論したが、それぞれ課題がある。結論として、1)、2)について甲